

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シニアステージ上井新築工事	階数	地上4F
建設地	鳥取県倉吉市伊木字式ノ首217他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域 商業地域 準防火地域	平均居住人員	77 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2015年3月30日
敷地面積	2,263 m ²	作成者	柴田 直人
建築面積	771 m ²	確認日	2015年3月30日
延床面積	2,334 m ²	確認者	坂本 浩志

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q1 室内環境: 2
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 オール電化建築物とし、オール電化厨房や、給湯設備にエコットを採用するなど、環境負荷低減に配慮した建物としている。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 住居エリア、共用エリアをゾーニングするに当たり、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q2 サービス性能 バリアフリー性に配慮し、入居者がスムーズに利用できるような配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な駐車台数を確保した。外構をすることで
LR1 エネルギー 建物の外皮性能の向上の意識した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型の水栓の利用等を意識した計画とした。	LR3 敷地外環境 敷地境界線周辺にフェンス等設置し、防犯性とプライバシーへ配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される